仕様書（カタログ品）

１．件 名　　大量凍結試料保存容器の購入

２．数 量　　一式

３．目 的　　当研究部門の研究目的である、動物組織より得た細胞およびそれらより樹立した幹細胞株、更にはその分化細胞等の生物学的特性を解析するためには、それらの生体試料を一度凍結し、後に融解して増殖させ様々な実験に用いる必要がある。本装置は、そのような生体試料を長期間超低温にて保存する為の液体窒素用容器、およびその容器への液体窒素自動供給システムである。

４．納入期限 平成 26 年 2 月 28 日

５．納入場所　遺伝子発現解析棟　１Ｆ西 11

６．仕様･性能　テイラーワートン社 10K-KRYO-BATT　相等品可

以下の仕様・性能を満たすこと。

1. 超低温にて生物学的試料を液相(マイナス 190℃以下)、または気相(マイナス 150℃以下）保存するための容器であること。
2. 機器外寸はＷ 590 x D 780 x H 1,125 (㎜)以内、蓋開放時の全高が 1,760 (㎜)以内であること。
3. 機器内寸が、内径 540(㎜)、内寸高 745(㎜)以内であること。
4. ディスプレイを備えており、液体窒素の液量をモニターし、充填量のコントロールを行えること。
5. 本品(液体窒素保存システム)と外部の液体窒素供給容器シリンダーを専用フレキシブルホースで接続し、液体窒素の充填ができること。
6. システムログとエラーログ、温度センサーログが保存できること。全てのログは、コントローラーの電源の状態にかかわらず保存され、かつ必要に応じて取り出せること。
7. セキュリティ対策として、パスワード機能を有すること。
8. 電源投入時、セルフテスト機能を有していること。
9. 音声、ビジュアルによるアラームを有し、アラーム状態をフロントパネルに表示すること。
10. 設定した時間差によるリモートアラーム設定が可能なこと。

11. リッドスイッチを有し、蓋の開閉を感知すること。この機能を有することで急速冷却やオートデフォグ機能開始の指示を出せること。
12. 水位センサー機能、温度センサー機能、音声機能、ビジュアルアラーム、リモートアラームに関してマニュアルテストができること。
13. 温度キャリブレーションをオートマチックで行えること。
14. ラックシステムによる大量保存ができ、ラックは 100 セル用と、25 セル用を使用できること。
15. 2mL クライオバイアルが、最大 10,400 本収納・保存できること。
16. 静止状態(ラックなし)で蒸発率は、5.0(L/日)、静止保持日数は 33(日)の機能を有すること。
17. メンテナンスの際、必要に応じてコントローラー、温度センサーの取り付け、取り外しができること。
18. 液体窒素ボンベは含まないが、それにつなげるホースは含むこと。。
19. 100 セル用ラックを本容器に入る最大数用意すること。
20. 100 セル用保存箱(クライオボックス)は用意した 100 セル用ラックに全て入る量を準備すること。

７．検 査

・納入完了後、当研究所職員が、所定の要件を満たしていることを確認したことをもって検査合格とする。

８．その他

・相当品の場合、事前に仕様・性能が分かるものを提出すること。
・取扱説明書を最低１部提出すること。
・据付調整、動作確認を含む。
・本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、当研究所担当者と協議の上、その決定に従うものとする。

（要求者）

部課（室）名：研究基盤センター　研究基盤技術部　　遺伝子・細胞情報研究室

氏 名：荒木　良子